



## 優しさの貯金

年の瀬を迎え、ふとこの一年にあったことや行ったことを振り返ることが増えました。前だけを見てひたすら走っていた若い頃とは違い、今日の足跡を見つめ返しては明日に思いを馳せることもしばしば。慎重になるのは、過去の失敗の貯金が効いているからなのでしょう。

小学四年生のとき、母と乗車した東海道線で一人のおばあさんと出会いました。あと三駅で到着するというとき、おばあさんが私の前に立ちました。私がすぐ立ち上がり、席を譲ろうとすると、「あと少しで着くから大丈夫よ。お嬢さんが座って。」とおばあさんが言いました。

「どうぞ座ってください。すぐ着くし、揺れると危ないから。」と答えた私に、おばあさんは何度も「ありがとうね。ありがとう。」と言って座ってくれました。

母は私を見て、「よく言えたね。よく行動できました。すごいよ。」と言ってくれたので、より嬉しくなり、なんだか誇らしい気持ちでいっぱいでした。

駅に着くとそのおばあさんが、私に二百円を握らせて、「さっきはありがとうね。優しくされたことがないからすごく嬉しくてね。お母さんと二人でジュースを飲んでね。」と言ってくれました。当たり前のことをしたただけだと断る母に、おばあさんは、「人に席を譲られることがなくてね。人に優しくされることって、こんなに嬉しい気持ちになるのね。本当にありがとう。受け取ってね。」と言って去って行きました。母も、私が取った行動を嬉しく思い、ありがたく受け取り、私に大切にするようにと言いました。

この経験を通して、自分の気持ちや行為が、人の心を温めるだけでなく、自分の胸にも温かいものを広げていくのだなと気づくことができました。いまでも、そのおばあさんから頂いた二百円は、使うことなく取ってあります。私の優しさの貯金です。

……優しさは心の中の宝物となり、なくなることのない財産になります。

いじめや誹謗中傷があとをたたない世の中だからこそ、私たち一人ひとりが優しさの財産を蓄えるように、まわりに目を向けていきたいと思えます。

上記は、2年生の藤井さんが、伊豆の国市わたしの主張発表大会で『優しさは心の財産』と題してスピーチした内容の一部です。心がほんのり温かくなりませんか。

優しさの貯金——。なんて素敵な言葉であり、素敵な生き方なのでしょう。年が明けると大仁中は第5ステージ。そこでは、生徒による「感謝」をテーマとした生活が創造されていきます。「ありがとう」を見える形にして、大中生一人一人にも優しさの貯金が増えていくことを期待せずにはられません。 <文責：校長>

## ☆令和5年度より「8時00分登校～16時30分下校の学校づくり」を進めます

GIGAスクールや部活動の地域移行等、学校改革が加速化しています。市内中学校では、来年度から標題に掲げた新しい学校づくりに取り組みます。

### 期待される効果

- ・生徒の帰宅後の生活にゆとりをもたせることで、自分にとって必要なこと、やりたいこと等に取り組む時間生み出す。
- ・教職員の勤務時間の中にすべての教育活動を収めることで、授業づくりや生徒とのかかわり等に力を注ぎ、学校教育活動の質の向上を図る。

本校では、平日の部活動については、これまでどおり週3日の実施を考えています。活動時間をできるだけ確保するよう、今後は週日課の検討も進めていきます。生徒や保護者の皆様には、変更等でご不便をおかけする部分もあるかもしれませんが、将来的に部活動の地域移行につなげる基盤整備も意図しているものですので、ご理解ご協力をお願いいたします。詳細は、改めてお知らせいたします。



## ☆福祉・園芸委員会を中心にがんばっています

### ～アルミ缶回収活動～

福祉・園芸委員会が中心となり、アルミ缶回収活動を行っています。この活動を通じて、貴重な資源のリサイクルと自然環境保全に貢献したということで、アルミ缶リサイクル協会より感謝状をいただきました。

今後ご家庭でアルミ缶を処分する際には、ぜひ中を水洗いし、軽くつぶして学校の回収にご協力ください。



協会の方に表彰していただきました



### ～福祉カレンダー完成！～

今年度も、手作りの福祉カレンダーが完成しました。各学級で協力して貼り絵に取り組んだ力作です。近隣の福祉施設等（伊豆保健医療センター、ぬくもりの里、安寧の郷）で活用していただけるよう、福祉・園芸委員が届けに行ってきました。喜んでいただけるとうれしいです。

## ☆さまざまな分野での活躍がひろがっています

### 【美術部】未来に残そう青い海「海上保安庁図画コンクール」

下田海上保安部長賞（1年：古屋の） 海上保安協会下田支部長賞（1年：宮内あ）  
伊豆半島ジオパークこども絵画コンクール

特別賞（2年：鈴木え、宮内か、東日） 奨励賞（2年：山口り、杉山し、石井）

### 【席書コンクール】～国語の学習で取り組みました～

県特選（1年：青山 3年：中村） 県入選（1年：金井、平野 3年：堤）